

秋田市教育委員会
令和6年2月定例会
(事前配布資料)

【資料目次】

教育長等の報告

- (2) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について … 1

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

1 調査の目的

本調査は、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的とする。

加えて、教育委員会や学校においても、本調査結果を活用し、子どもの体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、課題に対応した施策の実施や体育・保健体育の授業等の充実・改善に役立てることを目的とする。

2 調査の概要

- ・ 小学校5年生2,084名、中学校2年生1,857名が参加
- ・ 実技に関する調査

- [小学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤20mシャトルラン（全身持久力）
 - ⑥50m走（疾走能力）
 - ⑦立ち幅とび（筋パワー・跳躍能力）
 - ⑧ソフトボール投げ（巧緻性・投球能力）

- [中学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤持久走（全身持久力・長距離走能力）※
 - ⑥20mシャトルラン（全身持久力）※
 - ⑦50m走（疾走能力）
 - ⑧立ち幅とび（筋パワー・跳躍能力）
 - ⑨ハンドボール投げ（巧緻性・投球能力）

※⑤か⑥のいずれかを選択して実施

- ・ 質問紙調査
運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査

3 本市調査結果の概要

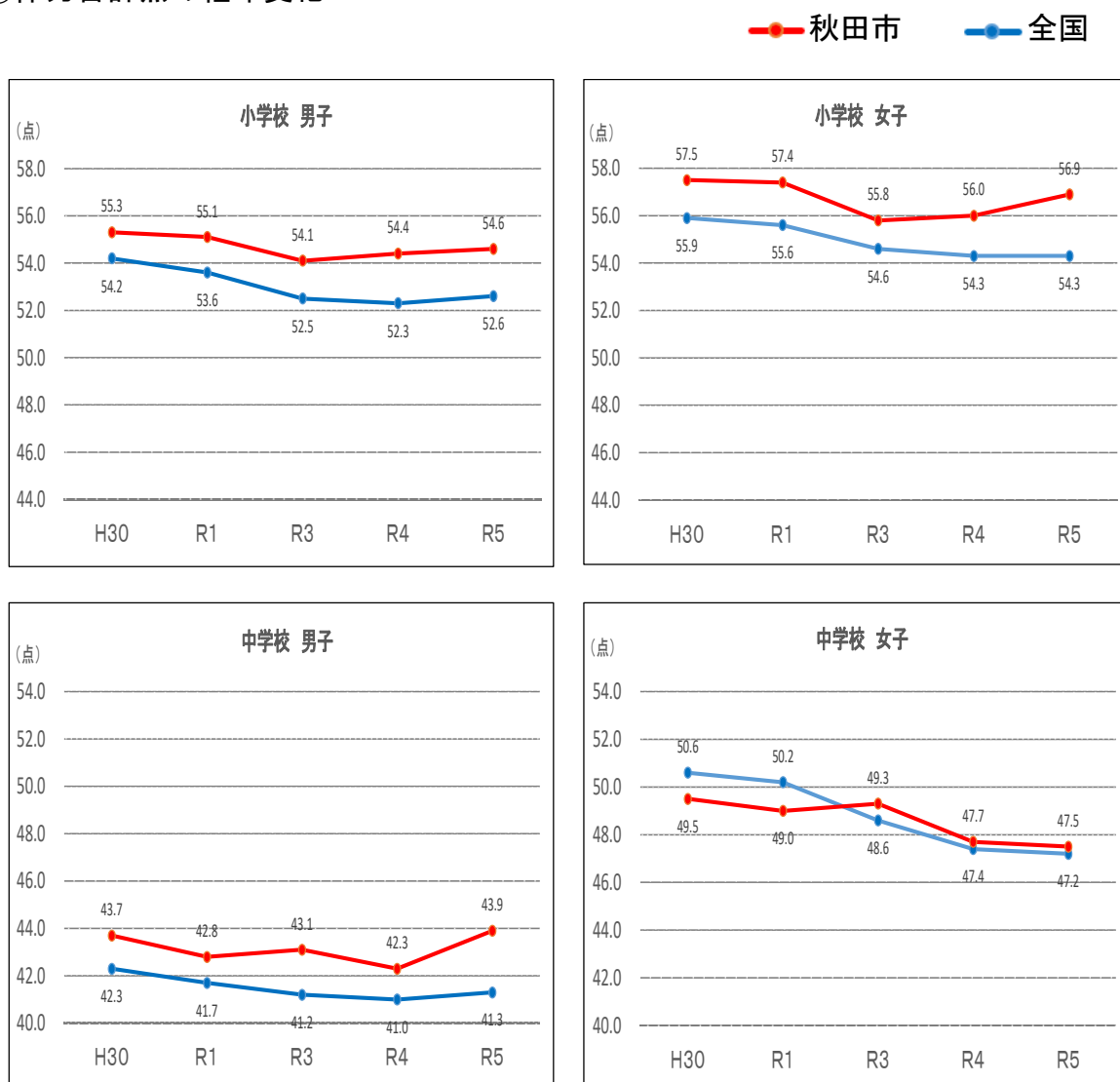
(1) 実技に関する調査結果

①体力合計点※の結果

	合計点 (平均値)	
	秋田市	全国
小学校 男子	54.6	52.6
小学校 女子	56.9	54.3
中学校 男子	43.9	41.3
中学校 女子	47.5	47.2

※ 8種目の項目得点（1点～10点）を合計したもの。各種目の項目得点の基準は、年齢別・男女別に異なる。

②体力合計点の経年変化

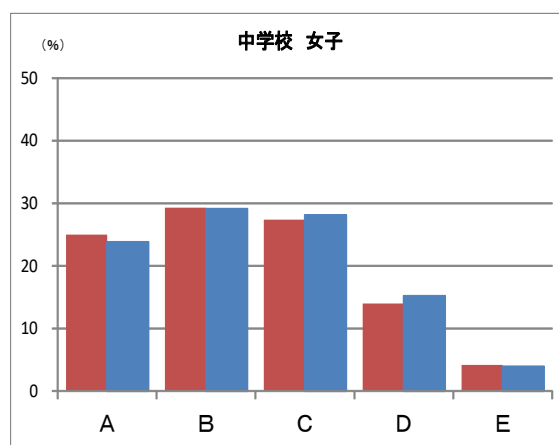
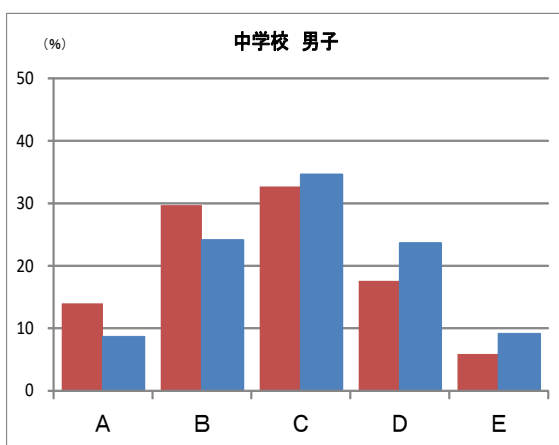
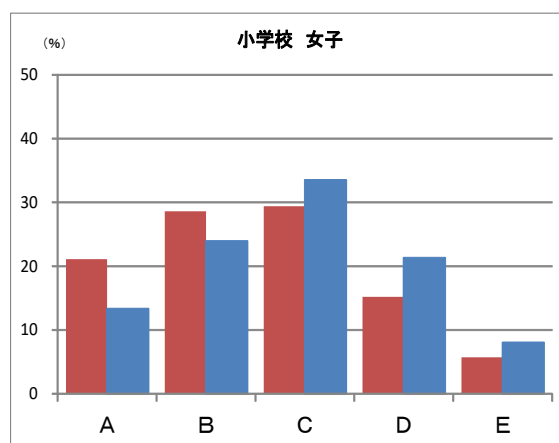
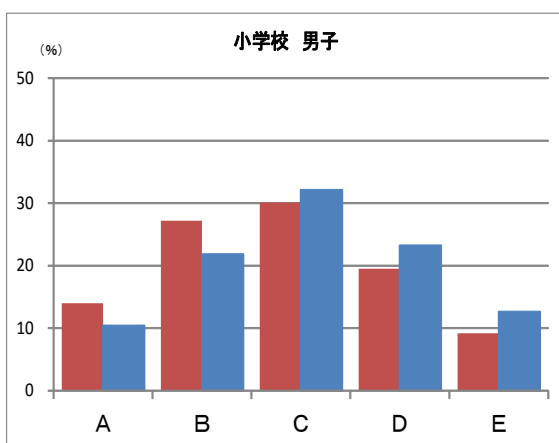


③総合評価※の分布

	総合評価基準				
	A	B	C	D	E
小学校5年生 (10歳)	65以上	58～64	50～57	42～49	41以下
中学校2年生 (13歳)	57以上	47～56	37～46	27～36	26以下

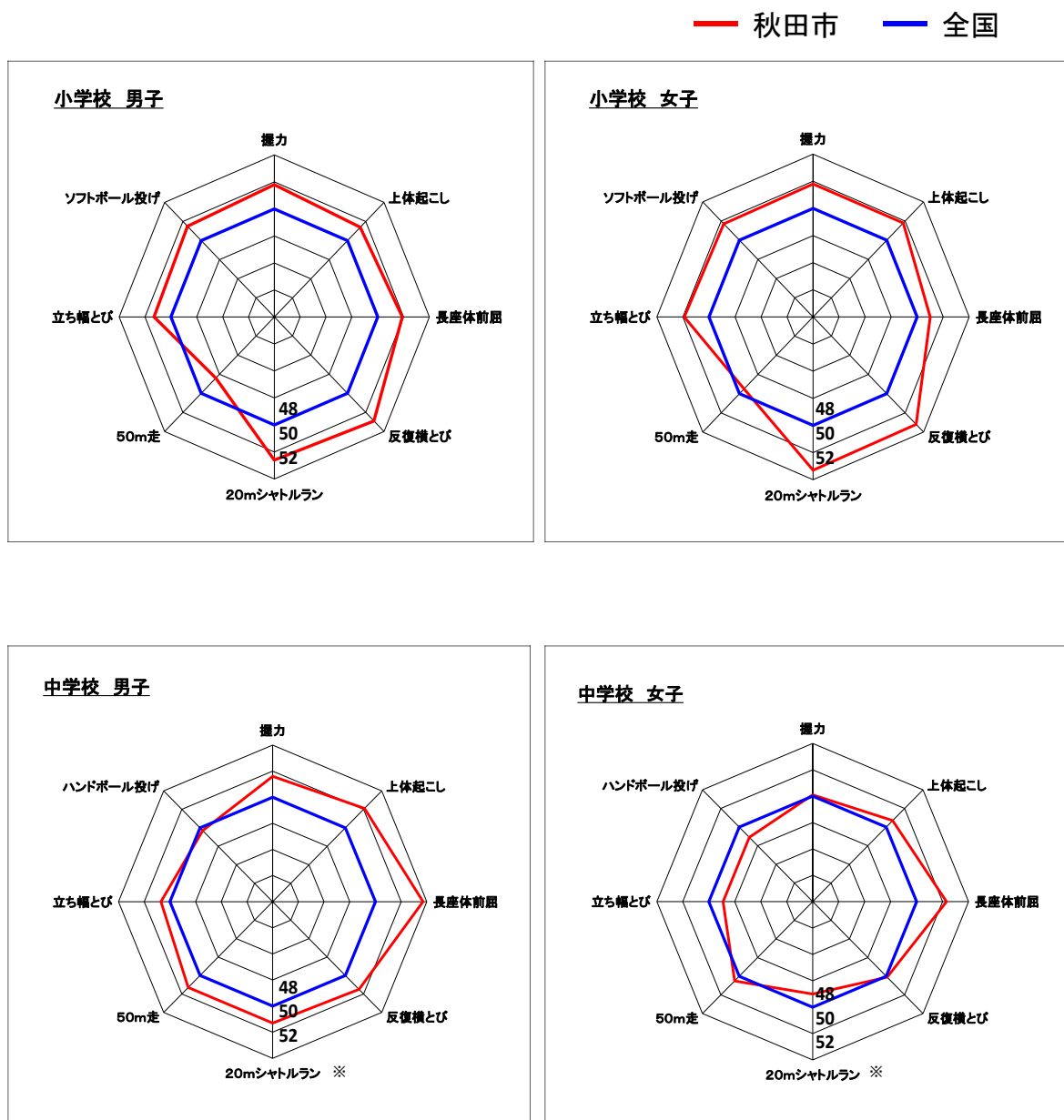
※ 体力合計点を総合評価基準にしたがい、5段階に分けて評価したもの。

■ 秋田市 ■ 全国



④各種目の結果

実技8種の項目について、全国の種目別平均値を50と換算し、全国平均値に対する本市の種目別平均値を相対的に示しています。



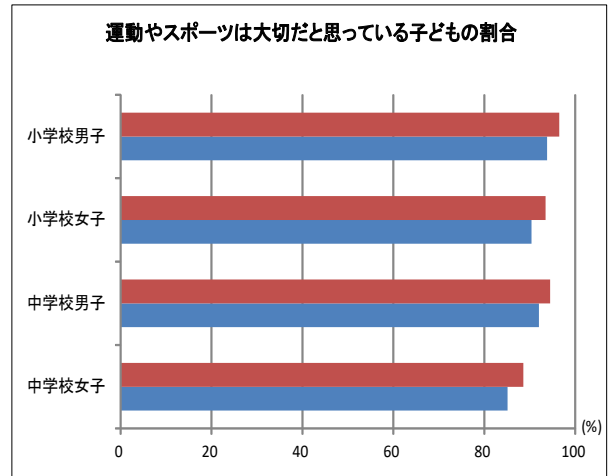
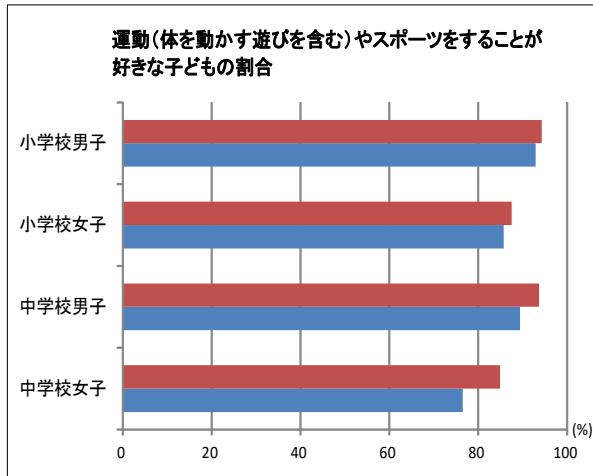
※ 持久走と20mシャトルランの選択について

中学校の実技調査では、持久走と20mシャトルランのいずれかを選択して実施することとなっています。本市では、両種目を実施した中学校もありましたが、上のグラフには、全ての学校が実施した20mシャトルランの結果を掲載しています。

(2) 質問紙調査結果

○運動・スポーツに関する意識について

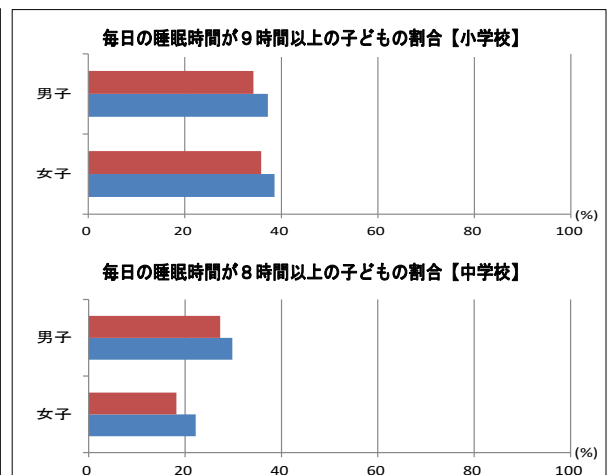
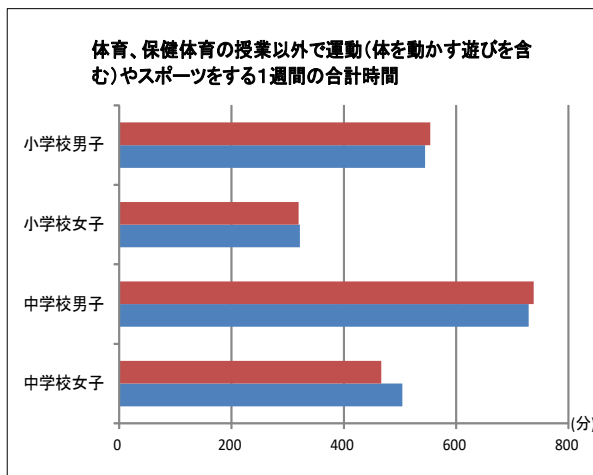
■ 秋田市 ■ 全国



「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答した子どもの割合は、小学校男子、中学校男子で90%以上、小学校女子、中学校女子では80%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。特に、中学校女子は、全国平均を8.4ポイント上回っています。

「運動やスポーツは大切・やや大切だと思う」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男子で90%以上、中学校女子では85%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。特に、小学校女子、中学校女子は、全国平均を3ポイント以上上回っています。

○運動習慣・生活習慣について

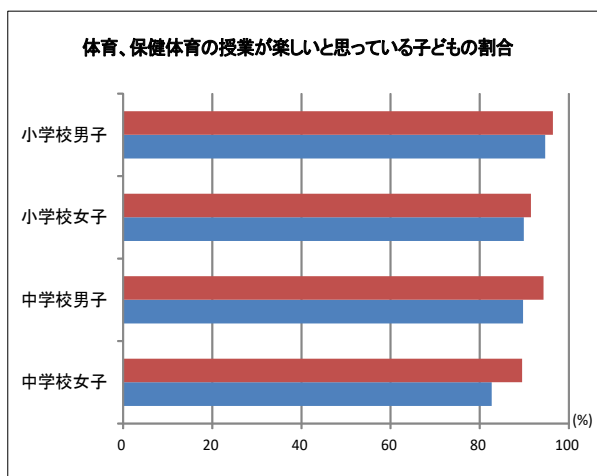


「体育、保健体育の授業以外で運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする1週間の合計時間」は、小学校男子、中学校男子で全国平均を上回っています。中学校女子は、全国平均を37.8分下回っています。

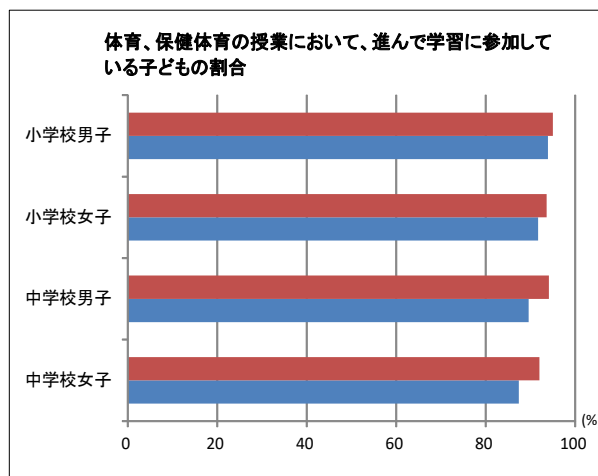
【小学校】「毎日の睡眠時間が9時間以上」と回答した子どもの割合は、男子で34.2%、女子では35.8%となっており、いずれも全国平均を下回っています。【中学校】「毎日の睡眠時間が8時間以上」と回答した子どもの割合は、男子で27.3%、女子では18.2%となっており、いずれも全国平均を下回っています。

○体育、保健体育の授業について

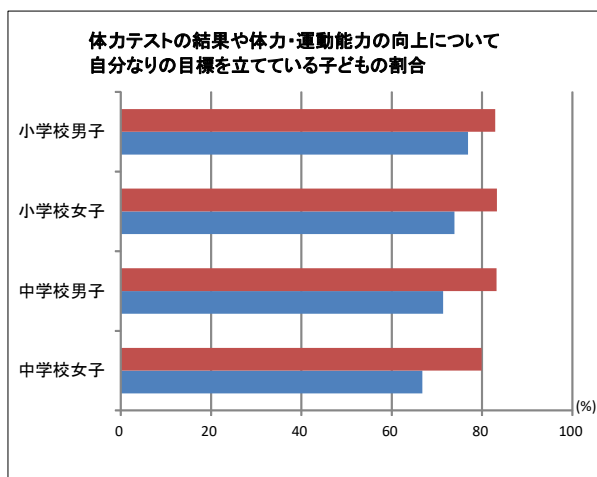
■ 秋田市 ■ 全国



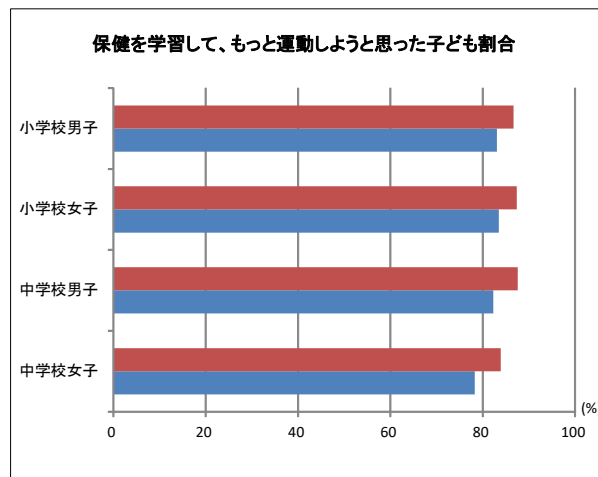
「体育、保健体育の授業が楽しい・やや楽しい」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男子で90%以上、中学校女子では85%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。特に、中学校男子では4.6ポイント、中学校女子で6.8ポイント全国平均を上回っています。



「体育、保健体育の授業において、いつも進んで・だいたい進んで学習に参加している」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男女共に90%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。特に、中学校女子は、全国平均を4.6ポイント上回っています。



「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男女共に75%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。特に、中学校女子は、全国平均を13.1ポイント上回っています。



「保健を学習して、もっと運動しようと思うようになった・やや思うようになった」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男女共に80%以上となっており、いずれも全国平均を上回っています。特に、中学校女子は、全国平均を5.6ポイント上回っています。

4 今後の取組

<学校教育における取組>

(1) 実技に関する調査の結果から

①小学校

- ・各校の実情に応じて、業間運動を推進したり、外遊びを推奨したりするなど、子どもが遊びを通して運動に親しむ機会の充実に努めます。
- ・疾走能力の向上のために、ミニハードル等を用いてスタート時の素早いステップを確認したり、ICT機器を活用し、腕の振り方や足の動きについてアドバイスし合う場面を設定したりするなど、指導の工夫を図ります。
- ・体を巧みに操作しながら走る動きを身に付けるとともに、走る動き自体の面白さや心地よさを味わうことができるよう、指導方法について学ぶ研修機会の充実に努めます。

②中学校

- ・運動やスポーツに進んで取り組むことができるよう、子どもが主体となる体育的行事を工夫するとともに、授業の開始時にサーキットトレーニングを取り入れるなど、十分な運動量の確保と体力の向上に努めます。
- ・投球能力の向上のために、体づくり運動や球技種目等の準備運動時にボールを投げる動きを取り入れたり、ICT機器を活用し、互いに投球フォームを撮影して、アドバイスし合う活動を設定したりするなど、指導の工夫を図ります。
- ・手や足の動かし方、体重移動などについての理解を深め、投動作の一連の流れを身に付けることができるよう、指導方法について学ぶ研修機会の充実に努めます。

(2) 質問紙調査の結果から

「体育、保健体育の授業において、いつも進んで・だいたい進んで学習に参加している」と回答した子どもの割合は、小学校、中学校共に90%以上、「保健を学習して、もっと運動しようと思うようになった・やや思うようになった」と回答した子どもの割合は、小学校、中学校共に80%以上で、全国平均を上回っています。

今後も、主体的に授業に取り組めるよう、練習方法やルール、課題等を自ら考え、選択し、決定する場を多く設定するとともに、生涯を通じて運動に親しみ、健康の保持増進につなげていけるよう、運動と健康の関連を図った指導の一層の充実に努めます。

<家庭・地域との連携した取組>

「体育、保健体育の授業以外で運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする1週間の合計時間」の割合は、小学校、中学校の男子で全国平均を上回っています。「(小学校) 毎日の睡眠時間が9時間以上」「(中学校) 毎日の睡眠時間が8時間以上」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男女共に全国平均を下回っています。

今後も、子どもが日常的に運動する習慣を身に付けることができるよう、本調査の結果を家庭と共有し、運動やスポーツを積極的に行うことを家族から働きかけてもらったり、家庭でできる運動を推奨したりします。また、生活習慣の基本である「運動」「食事」「睡眠」のバランスがとれた生活習慣を身に付けることができるよう、家庭との連携に努めます。